

指導教員

授業者

- 1 日時 令和7年6月13日
- 2 学年 (40名)
- 3 教科書・教材 実教出版『歴史総合』・プリント・ワークシート
- 4 単元名 第2章 7～9節「西洋とぶつかるアジアと西洋の国民国家」
- 5 学習指導要領のまとめり<内容のまとめり>(2)B「近代化と私たち」

### 6.1 単元の目標

近現代の歴史の変化に関わるアジアと列強について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、チョークポイントなどの現代的な課題の形成に関わる概念を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。産業革命の波への各国の対応を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。アジアと列強に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

### 6.2 単元の教材観

本単元は、西欧諸国が産業革命を成し終えた上でどの様に東洋に対して働きかけたかが重要である。西洋の衝撃に対してどの様に東洋諸国が対策をしたのか、どの様な反動が起こったのかについて理解することで、東洋諸国がどの様な動きをしたのかについて、統合を試みることで近代化の一つの流れを理解するとともに、各国の独自性がどの様な要素から生まれたのかについて考察する。

### 6.3 単元の指導観

西洋の衝撃に対して、アジア諸国やアフリカ諸国がどのような対策を講じ国家を再建設したのかについての動向を学び、各国を比較する。また、近代化、大衆化といった大きな時代の流れの中でこの時代は転換期にあたる。オスマン帝国や清朝の栄枯盛衰を実感し「貴き者ついには滅びる」事を実感する。その実態を踏まえながら今後の各国の動向において同じ様な事象が見受けられるか否かについて探求し、「歴史は韻を踏む」ことを体感する。

### 6.4 単元の生徒観

本校の生徒は大学に進学する人がほとんどなため、次の学びにつながる知識・技能の習得が求められる。また、これまで中学校で日本の開国の歴史などを学んでいるためこれらに配慮する必要があり、これらの知識を発展させることでより深い思考につながると考える。また、総合などの授業を通して多面的・多角的に事象を考察する力がある程度備わっていると考えられるため、その力を対話などで、より深い思考を促すことができると考える。

## 7 単元の評価規準（学習指導要領）

知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から情報を読み取ったりまとめたりの技能を身に付けている。</li> <li>・18から19世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18から19世紀のアジアの経済と社会を理解している。</li> <li>・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18から19世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18から19世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

8 単元の学習計画

回数	学習内容・めあて	主な評価基準「観点」評価方法
1	ロシアの南下政策と西アジア等 めあて：対外侵略と貿易の関係性を知る	ロシアの南下政策について、資料から情報を読み取り、まとめたりしている。【知識・技能】 西欧列強の動向に着目してイランやエジプトなどを比較することや、相互に関連付けて考察して表現している。【思考・判断・表現】 授業に対して、学習の見通しをもって、学習に取り組もうとしている。【態度】
2	中国、インド、日本と西洋列強 めあて：近代化の各国の状況を比較する。	西欧列強の対外進出について、資料から情報を読み取り、まとめたりしている。【知識・技能】 西欧列強の動向に着目してインドや中国などを比較することや、相互に関連付けて考察して表現している。【思考・判断・表現】 授業に対して、学習の見通しをもって、学習に取り組もうとしている。【態度】
3 本時	日本の国内の動向と海外の比較 めあて：これまでの学習を生かして国同士の違いを考察する。	日本の開国について、資料から情報を読み取り、まとめたりしている。【知識・技能】 西欧列強の動向に着目して日本とその他の国を比較することや、相互に関連付けて考察して表現している。【思考・判断・表現】 授業に対して、学習の見通しをもって、学習に取り組もうとしている。【態度】

9.1 本時の教材観

江戸幕府の滅亡では、幕藩体制の崩壊から王政復古の発令までを取り扱う。王政復古までの薩摩藩の動きに注意しながら生徒に伝えることを心がけるとともに、尊王攘夷から開国倒幕へと思想が変化したことについて触れる。また、孝明天皇の死が幕府にとってダメージが大きかったことに触れる。グループワークでは、生徒のこれまでの学びを生かし、ジグソー学習的な事を行う。取り上げる国家は、オスマン帝国、ロシア帝国、清、インド、タイ、日本、英、仏、朝鮮、アメリカを取り上げる。イランとエジプトに関しては見本として教師側が行う。これらの国家を、縦軸が宗主国から植民地、横軸が立憲君主制から君主制としXY軸を黒板に書きマグネットを前に貼ってもらう。発表が終わったら、一人一人にその国々のばらつきに法則性があるのかを考察させる。

オスマン帝国、ロシア帝国、清、インド、タイ、日本、英、仏、朝鮮、アメリカの10国を各班が深く学ぶことによって、それぞれの歴史や地政を深く知ることができ、その軸を元に他国と選択した国を比較することができるようになる。また、発表を設けることで、煩雑な情報を整理し伝える力が養われる。

9.2 本時の目標

グループワークの場面で、国の資料をもとに話し合いに参加し、XY軸のグラフや資料をもとにグラフの傾向やなぜそのような傾向が現れるのかについて因果関係を用いて説明することができる

9.3 本時の指導観

前半は説明が多くなるため、生徒を惹きつける説明を心がける。また、グループワークに使用するワークシートを班ごとに分け国家の上部構造と下部構造をまとめた資料を渡し、ワークシートをグループ事に進めてもらう。ジグソー学習を取り入れることで、生徒の主体的に学ぶ態度を引き出すとともに、国の政治構造などを理解する。また、発表を通して人前で話す力を養い、最後の一人ひとりのまとめで自分の考えの構築につなげる。

9.4 本時の生徒観

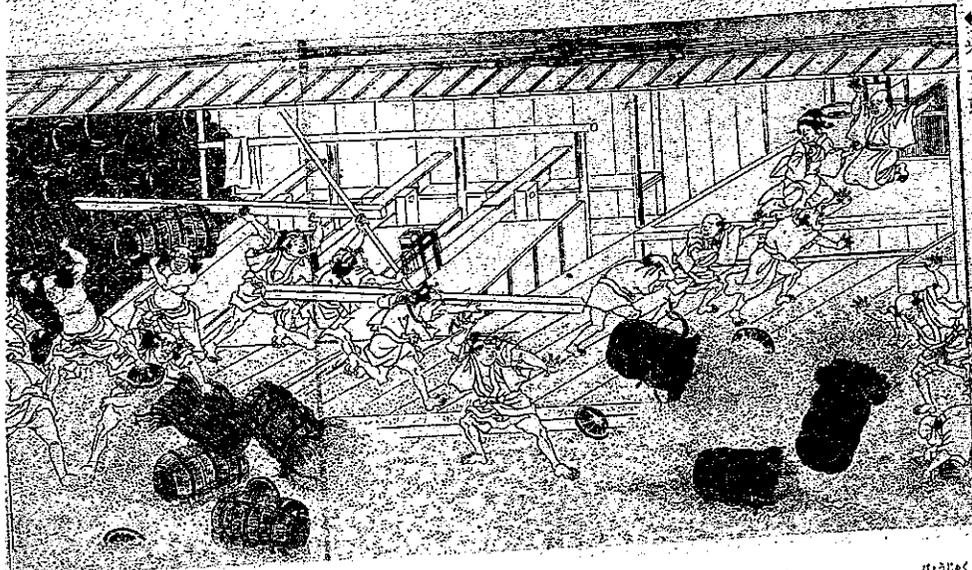
今回、授業を行うクラスは、真面目に授業を聞く生徒がほとんどである。その生徒の意識を持続させる授業が求められる。また、授業に対する理解をしている生徒が半数以上いるためグループ学習においても積極的な活動ができると考えられる。

10 本時の展開

学習内容・指導者の活動・生徒の活動			知 技	思 判 表	態 度	備考
段階	内容	指導者の活動・生徒の活動				
導入 5分		前回の振り返り ベリーの航路について触れる プリント①、②、振り返りシートを配布する。	○			パワーポイント で行う。
展開 I 15分	江戸 幕府の 滅亡	穴埋めプリント①の説明を行う。生徒は説明を聞きながら 随時穴埋めをする。  *長州藩と薩摩藩の動向の説明では、なぜそのようになったのかについて、詳しく説明し生徒の理解を促す。 *孝明天皇は佐幕派であることに注意する。  *人物が多く出てくるため適宜 肖像画などを見せる。 *パワーポイントを使用し視覚情報を用いた教材を多用し生徒が前のめりになる授業を心がける。  *尊王攘夷運動の困難さを悟った長州藩と薩摩藩が倒幕 開国に向かったことに留意する。	○			パワーポイント で行う 解説をしながら 生徒がプリント の穴埋めをする  教室を見回し、穴 埋めを生徒がし ているかを確認 する。
展開 II 22分	資料を 読み話 し合う (12分)  全体で 共有 (10分)	クジを引いて班ごとに行う国をきめ、各国の資料（プリン ト③）を配布する。生徒は、プリント③を元にプリント② ★1～7に取り組む。  グループが考える間に机間指導を行う。 <予想される発言> ・君主制って王様がいることですよ。 ・宗主国ってなんでしたっけ ・日本の場合、幕府がありましたけど君主制でいいですか  *イランを例に出しどのように回答するのかの見本を見 せる。 X 軸が専制君主制から共和制 Y 軸が宗主国から植民地 であり、グループで選んだ国を代表者が座標に乗せる。 全班が貼り終わったら、キャッチフレーズを聞き全体に共 有する。生徒はそれを元にプリント②の下半分に記入して いく。  *聞き取れない生徒のために復唱や板書を適宜行う。 →これまでの生徒の学びを再確認するために説明を行う。  *キャッチフレーズとグラフが一致するようなフォロー を心がける。	○	○	○	4人班を組み、ジ グソー学習的な ワークを行う。  議論が滞る班が あれば適宜フォ ローし議論を進 める。また、着目 するポイントを 伝える。  座標が明らかに 異なる場合は修 正する。

高等学校地理歴史科（歴史総合）学習指導案

<p>展開 Ⅲ 15分</p>	<p>個人ワーク (5分)  班内で共有 (10分)</p>	<p>プリント④の資料をもとに、ベン図を用いてXY軸のグラフの読み取りを行う。</p> <p>*ベン図を使用することで国の差異や類似点に着目することができる。</p> <p>&lt;予想される生徒の発言&gt; 識字率ってなんですか GDPが多い国は、宗主国が多い 清とインドは戦争に負けたからGDPが下がっているのかな</p> <p>班内で情報を共有し、考えを深める。</p>		<p>○</p>	<p>○</p> <p>プリント④を配布する。</p> <p>机間指導を行い、進捗状況を確認し、着目するポイントを伝える</p>
<p>まとめ 7分</p>	<p>まとめ 7分</p>	<p>問い：XY軸や④の資料を元にどのようなことがわかるか</p> <p>自分でこれまでのワークや再度XY軸の表と資料からわかることを読み取り自分の考えを文章にすることで振り返る。</p> <p>和 期間指導を行う。</p> <p>最後に大枠のまとめを行う。</p> <p>振り返りシートを回収し生徒の学びを評価する。</p>		<p>○</p>	<p>○</p> <p>大まかな概略を伝える。 振り返りシートを記入する。</p> <p>考え込んでいる生徒がいれば適宜フォローし記述を促す。</p>



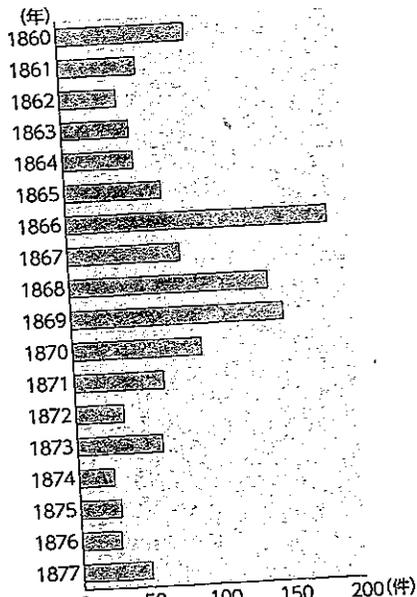
江戸の打ちこわし(1866年)  
米を拾う人は打ちこわしの参加者  
ではない。【幕末江戸市中騒動図】。  
東京国立博物館蔵。



どうして米屋をおそったのかな。

## 9 江戸幕府の滅亡

将軍や各藩はどのような政治体制をつくらうとしたのだろうか。



江戸時代の百姓一揆と打ちこわし 青木虹二「百姓一揆総合年表」より。

江戸幕府では、病弱な将軍の後継者問題がおこり、大老井伊直弼は血筋や家柄を重視して、まだ年少の紀州藩主徳川慶福を後継者と決め、慶福は徳川家茂として14代将軍となった。幕府政治に直接かかわることのできない御三家の水戸藩や外様大名の薩摩藩などは反対したが、井伊は反対派を弾圧した(安政の犬獄)。

横濱などが開港されたことで、外国の勢力を追い払おうとする攘夷論が高まると、天皇を重視する尊王論が攘夷論とむすびついて、尊王攘夷派(尊攘派)を形成した。その尊攘派の水戸藩の元藩士らが1860(万延元)年、井伊直弼を殺害した(桜田門外の変)。

続く老中安藤信正は、貿易の拡大で次々に問題が発生する状況を、朝廷の権威を利用し、朝廷と一致団結する体制(公武合体)でのりきろうと、孝明天皇の妹和宮と将軍家茂との結婚を実現させた。

幕末の薩摩藩と長州藩 薩摩藩の島津久光は、大兵をひきいて上京し幕府に改革をせまり、さらに江戸に向かった。江戸からもどる途中にイギリス人を殺傷する生麦事件をおこし、その賠償問題がまともならず、1863(文久3)年にイギリスが薩摩藩を攻撃した(薩英戦争)。戦争は早期に終わり講和がむすばれると、イギリスは薩摩藩と関係を深めていった。

長州藩は過激な攘夷を主張し、下関で外国船を攻撃した。薩摩藩



「ええじゃないか」...1867年の秋から冬にかけて東海地方を中心に、神社の札が舞い、「ええじゃないか」とさげびながら民衆がおどるさわぎがおこった。三重県総合博物館蔵。



大政奉還を諮問する徳川慶喜 慶喜は倒幕派の機先を制して政治の主導権をにぎろうとした。聖徳記念絵画館蔵。

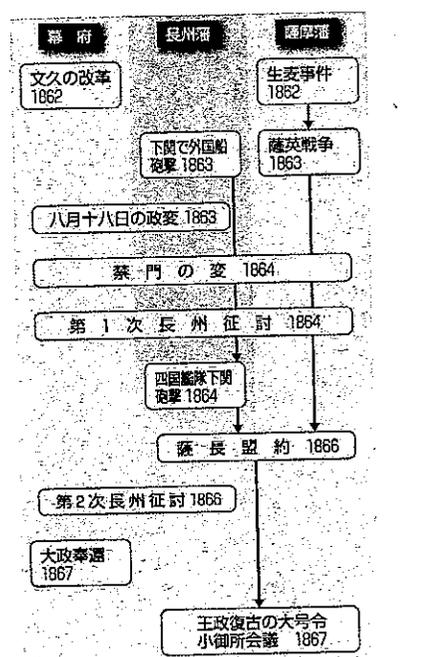
は会津藩とともに長州藩士の京都での活動を妨げた(八月十八日の政変)。これに対し、長州藩は京都に攻めのぼったが、薩摩藩にやぶれた(禁門の変)。幕府は諸藩に対して長州藩に攻めこむ準備をととのえさせた。長州藩は戦闘をせずに幕府に降伏した(第1次長州征討)。降伏の直前にはアメリカなど4か国が下関を攻撃した。

大政奉還と王政復古 幕末には世直し一揆が頻発し、江戸や大坂では長州征討にともなう物価上昇に苦しんだ民衆が打ちこわしをおこなうなど、社会不安が高まった。

1866(慶応2)年、土佐藩出身の坂本龍馬らの仲介で、薩摩藩が長州藩を支援する密約がむすばれた(薩長同盟、薩長密約)。幕府は第2次長州征討をはじめたが、南北戦争でも使われた銃をイギリスから薩摩藩経由で手に入れた長州藩が幕府軍を苦しめた。このとき将軍家茂が病死し、15代将軍には徳川慶喜が任じられ、ほぼ同時期に孝明天皇が死去した。

1867年には長州藩に加えて薩摩藩も幕府との対決姿勢を強めた。慶喜は、土佐藩の提案を受け入れ、同年に政権を朝廷に返した(大政奉還)。これに対して薩長側は、公家の岩倉具視と協力して京都を武力で封鎖し、幕府を廃止して新政府を発足させた(王政復古の大号令)。

江戸幕府がめざした政治はどのようなもので、なぜ薩長側はそれに反対したのだろうか。



↑幕末の動き  
オスマン帝国(→p.48)、清(→p.52)の近代化への動きと、幕末にはじまる日本の近代化への動きを比較してみよう。

## 9節 江戸幕府の滅亡 フォント①

年 組 番 名前

### 【尊王攘夷運動の高まり】

#### ●将軍の後継者問題

- ・大老井伊直弼, 血筋や家柄を重視 → 反対派を押し切り, 紀伊藩主徳川慶福を推挙  
→ 徳川慶福は〔①〕として14代将軍に
- ・水戸藩や薩摩藩はこれに反発  
→ 大老井伊直弼, 反対派を弾圧(〔②〕)

#### ●大老井伊直弼の政治

- ・横浜など開港, 貿易開始
- ・外国勢力を追い払おうとする考え方:〔③〕



天皇を重視する考え方:〔④〕

#### ■ 尊王攘夷派(尊攘派)の形成

- ・1860年〔⑤〕尊攘派の水戸藩の元藩士らが井伊直弼を暗殺

#### ●安藤信正の政治

- ・朝廷の権威を利用し, 朝廷と一致団結する体制(〔⑥〕)で問題を乗り切ろうとする

→ 孝明天皇の妹:〔⑦〕

将軍徳川家茂と結婚

→ 尊王攘夷派を刺激 → 安藤信正, 坂下門外で襲撃される

### 【幕末の薩摩藩と長州藩】

#### ●薩摩藩の動向

- ・薩摩藩の〔⑧〕が幕府に改革をせまる  
大軍をひきいて上京, その後江戸に向かう
- ・江戸からもどる途中で〔⑨〕をおこす  
→ 1863年 薩英戦争の勃発 → イギリス人を殺傷  
→ 講和がむすばれ, イギリスと関係を深めていく

#### ●長州藩の動向

- ・過激な攘夷を主張し, 下関で外国船を攻撃
- ・〔⑩〕で, 薩摩・会津藩に京都を追われる  
→ 再度京都に攻めのぼるも, 禁門の変でやぶれる

- ・幕府 → 諸藩 長州藩に攻めこむ準備を命じる  
→ 長州藩は戦闘せずに幕府に降伏(第1次長州征討)
- ・アメリカなど4か国が下関を攻撃

### 【大政奉還と王政復古】

#### ●社会不安の高まり

- ・幕末期…世直し一揆が頻発
- ・江戸や大坂では…物価上昇に苦しむ民衆たちによる打ちこわしの発生
- ・社会不安の高まりにともない「ええじゃないか」がおこる

#### ●薩長同盟

- ・1866年〔⑪〕の締結  
…土佐藩出身の〔⑫〕らの仲介  
薩摩藩が長州藩を支援する密約

#### ●大政奉還

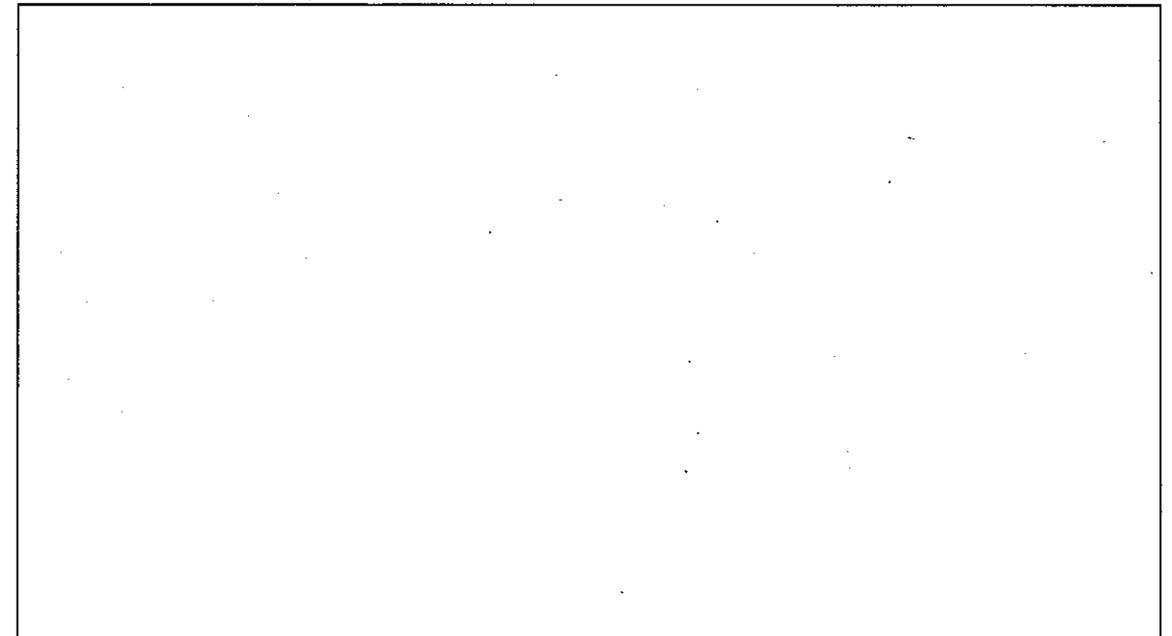
- ・15代将軍に〔⑬〕が就任
- ・1867年〔⑭〕…土佐藩の提案を受け入れ, 政権を朝廷に返上

#### ●王政復古の号令

- ・大政奉還後…薩摩・長州側は公家の岩倉具視と協力  
→ 京都を武力で封鎖し, 幕府を廃止して新政権を樹立。



〔⑮〕



# 9節 江戸幕府の滅亡 クーデラシート フォリント②

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_

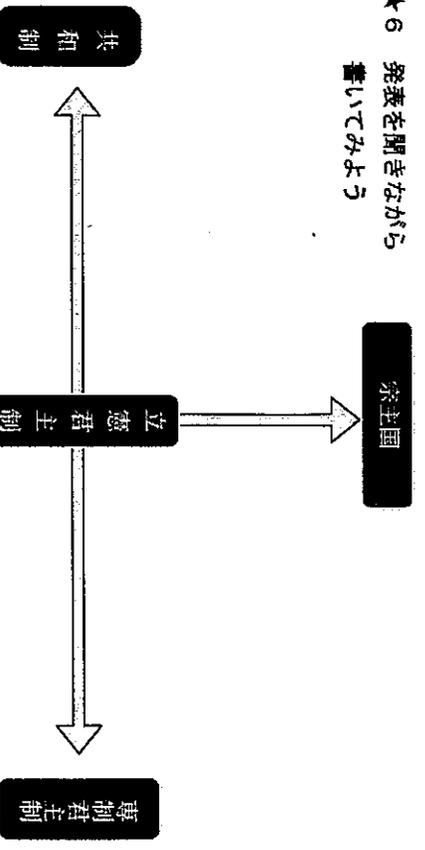
★1 今回調べる国名

★6 発表を聞きながら書いてみよう

★2 文の初めの国の形を選択しよう

- 植民地
- 保護国
- 独立国
- 宗主国
- 縦軸 (Y)
- 共和制
- 立憲君主
- 専制君主制
- 横軸 (X)
- 植民地
- 保護国
- 独立国
- 宗主国
- 縦軸 (Y)
- 共和制
- 立憲君主
- 専制君主制
- 横軸 (X)

★3 文の終わりの年代の国の形を選択しよう



★4 この国のキャッチフレーズをつけるとしたら何か？

★5 文章、資料を元に右のXY軸のグラフで国がどのように変化したかを文章で書きグラフに記入しよう。

\*レベルアップ：理由も書いてみよう

★7 発表を聞きながらキャッチフレーズなどを書き込もう

国名：

国名：

国名：

国名：

国名：

国名：

国名：

国名：

国名：

# プリント③

二人は大学で、インドの国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

アニルさん: ラオ教授、1750年代から1910年代のインドの歴史について教えてください！この時期はイギリスの影響が強まった時代ですよね？

ラオ教授: そうですね。この時期のインドは大きな変革を迎えました。1757年のブラッシーの戦いで、イギリス東インド会社がベンガル地方を支配し始めました。これがインドの植民地化の始まりでした。ただこの時はムガル帝国は存続しています。

アニルさん: イギリスの統治が進む中で、インドの経済はどう変化しましたか？

ラオ教授: イギリスはインドを原料供給地として利用し、工業製品の市場にしました。その結果、伝統的なインドの手工業は衰退し、農業中心の経済へと変化しました。また、19世紀には鉄道や通信インフラが整備されましたが、それもイギリスの経済的利益を優先したものでした。

アニルさん: そうすると、インド人の生活は厳しくなったのですよね？

ラオ教授: その通りです。高額な税金や土地収奪により、農民の負担は増し、飢饉が頻発しました。その結果、民衆の不満が高まりました。

アニルさん: それが反英運動につながったのですよね？

ラオ教授: そうですね。1857年には「インド大反乱」(セポイの反乱)が起こり、インド兵や民衆がイギリスに国旗を翻しました。しかし、反乱は鎮圧され、1858年にはイギリス政府が直接統治を開始しました。これによりインドはイギリスの植民地となりました。

アニルさん: では、独立運動はどうやって始まったのでしょうか？

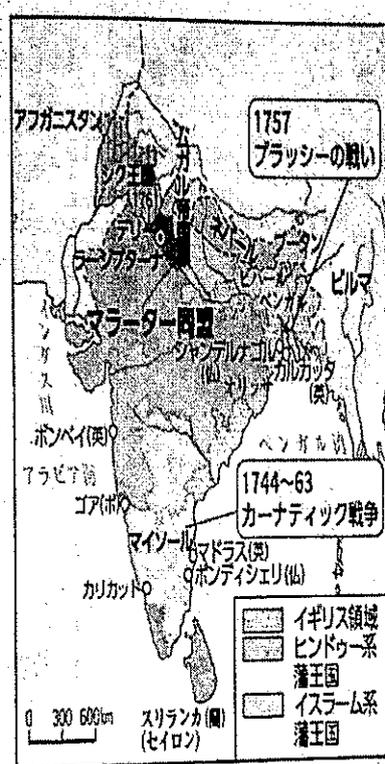
ラオ教授: 1885年には「インド国民会議」が設立され、イギリスへの穏健な改革要求が始まりました。しかし、1905年のベンガル分割令によって反英感情がさらに高まり、スワデーシ(国産品愛用運動)などの抵抗運動が活発化しました。

## ① インド支配の経過

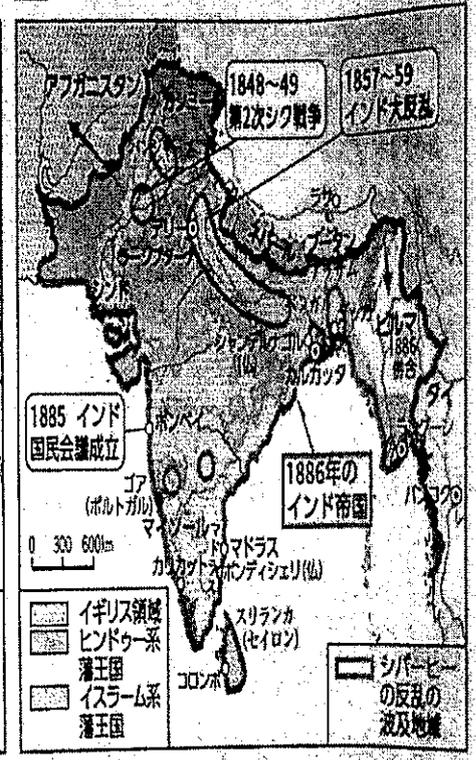
年表: 東インド会社関連

1600	イギリス、東インド会社設立
1708	マラーター同盟結成(1818)
1744	カーナティック戦争(1741-63) 終結
1757	ブラッシーの戦い 七年戦争の一環
1765	東インド会社、ベンガル地方の政治権限獲得
1767	マインソール戦(4回)(1767)
1775	イギリス、ベンガル支配
1785	マラーター戦争(3回)(1818)
1813	イギリス、デカン領土支配
1813	東インド会社の対インド貿易独占権廃止
1833	東インド会社の対中貿易独占権廃止、商務活動停止(34年没収)
1845	シク戦争(2回)(1849)
1857	イギリス、パンジブ地方併合
1858	イギリス、インドの直接統治を支配
1877	インドの憲法制定(クイーン・エドワード女王)
1885	インド国民会議結成(ボンベイ)
1886	ベンガルの併合
1905	ベンガルの分割
1906	全インドムスリム連盟結成(報英)
1911	ベンガル分割令撤回

## ② 1785年のインド



## ③ 19世紀後半のインド



# プリント③

二人は放課後に、フランスの国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

ルイさん: デュボン教授、1750年代から1910年代のフランスの歴史について教えてください! この時期はフランス革命や産業革命があった時代ですよね?

デュボン教授: そうですね。1750年代のフランスはルイ15世の治世下にありましたが、財政難や社会の不満が高まっていました。啓蒙思想が広まり、政治や経済の改革が求められるようになりました。

ルイさん: それがフランス革命につながったのですか?

デュボン教授: その通りです。1789年にフランス革命が勃発し、王政が崩壊しました。1793年にはルイ16世が処刑され、共和制が確立しました。君主制から共和制に移行したのです。しかし、革命後の混乱の中でナポレオンが台頭し、1804年に皇帝となりました。その後フランスでは共和制が存続することになるね

ルイさん: ナポレオンの時代にはどんな改革が行われましたか?

デュボン教授: ナポレオンは「ナポレオン法典」を制定し、法制度を整えました。また、中央集権的な行政を強化し、経済の発展を促しました。しかし、ヨーロッパ各国との戦争が続き、1815年のワーテルローの戦いで敗北し、退位しました。

ルイさん: その後のフランスはどうなりましたか?

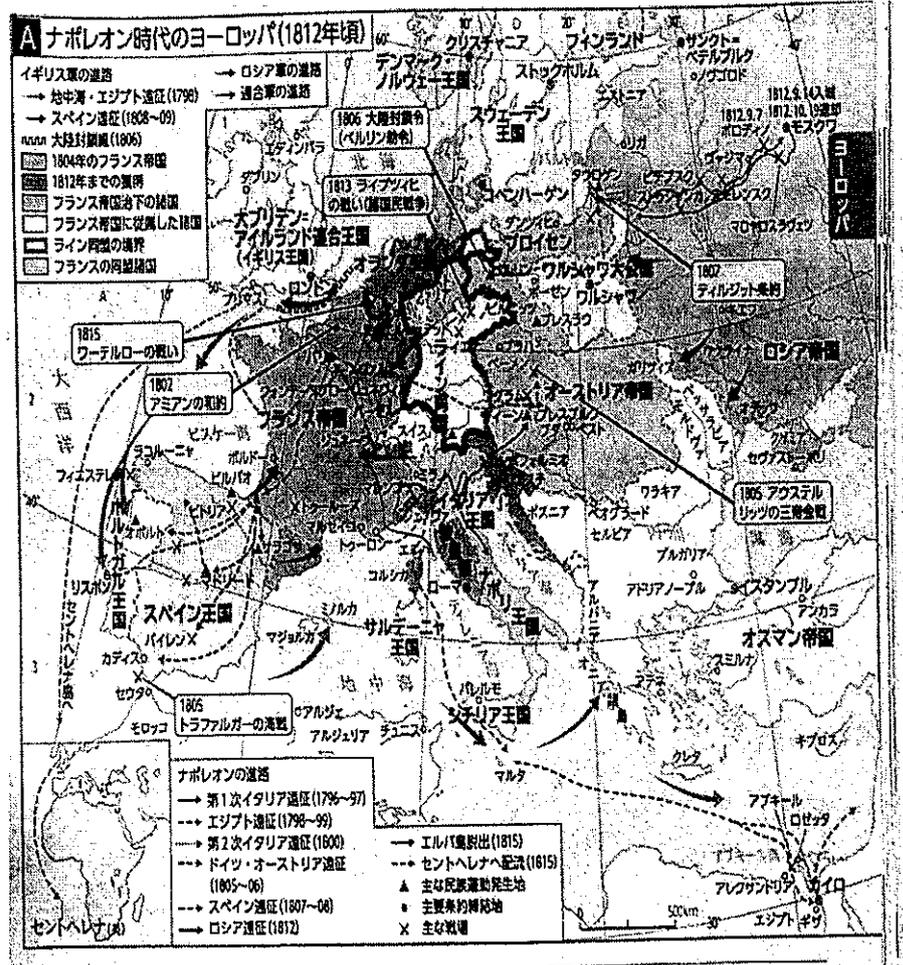
デュボン教授: ナポレオンの退位後、王政が復活しましたが、1830年の七月革命でブルボン朝が倒れ、ルイ＝フィリップが即位しました。さらに1848年には二月革命が起こり、第二共和政が成立しました。

ルイさん: 産業革命はフランスにどんな影響を与えましたか?

デュボン教授: 19世紀には産業革命が進み、鉄道や工場が建設されました。しかし、イギリスに比べて進展は遅く、農業中心の経済が続きました。それでも、都市化が進み、労働者階級が台頭しました。また、植民地政策が強まり、フランスはアフリカやアジアに勢力を拡大しました。これが後の国際関係に影響を与えることとなります。

## 4 ナポレオン時代

年	出来事
1796	3. イタリア遠征(～97)
1798	5. エジプト遠征(～99)
1799	6. 第2回対仏大同盟結成(～1802)
1800	12. 統領政府を樹立
1800	2. フランス銀行創立
1804	3. 民法典(ナポレオン法典)制定
1805	5. ナポレオン、国民投票で皇帝就任
1805	8. 第3回対仏大同盟結成
1805	10. トラファルガーの海戦
1805	12. アウステルリッツの戦い
1806	7. ライン同盟 神聖ローマ帝国 消滅
1806	11. 大陸封鎖令
1807	10. プロイセン改革開始
1808	5. スペイン反乱(～14)
1810	12. ロシア、対イギリス貿易再開
1812	5. ロシア遠征(～12)
1813	2. 第4回対仏大同盟結成(～14)
1813	3. 諸国民の解放戦争開始
1813	10. ライプツィヒの戦い
1814	4. ナポレオン退位
1815	5. ナポレオン、エルバ島配流
1815	9. ウィーン会議(～15.6)
1815	3. ナポレオン、パリ降参(「百日天下」)
1815	6. ワーテルローの戦い
1815	10. ナポレオン、セントヘレナ島配流



# プリント③

二人は大学で、中国の国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

王さん: 陳教授、1800年代から1890年代の中国の歴史について教えてください。特に改革や経済の動向に興味があります。

陳教授: 良い質問ですね。1800年代前半の中国は清王朝の支配下にありました。しかし、この時期は国内の政治体制が硬直化し、西洋列強の影響が強まった時代でもあります。ただ、当時の清は多くの民族を支配する宗主国でした。

王さん: それはアヘン戦争の時期ですね?

陳教授: その通り。1840年から1842年にかけて第一次アヘン戦争が起こり、清王朝はイギリスに敗北しました。南京条約によって香港がイギリスに割譲され、関税自主権を失うなど、中国の経済にも大きな打撃を与えました。

王さん: その影響で国内の不満が高まったのですか?

陳教授: そうです。1850年代には太平天国の乱(1851~1864年)が発生しました。洪秀全率いる反乱勢力が清政府と戦いましたが、最終的には鎮圧されました。この乱は農民の苦境と清政府の腐敗を象徴する出来事でした。

王さん: なるほど。ところで、清王朝はこの混乱をどう乗り切ったのでしょうか?

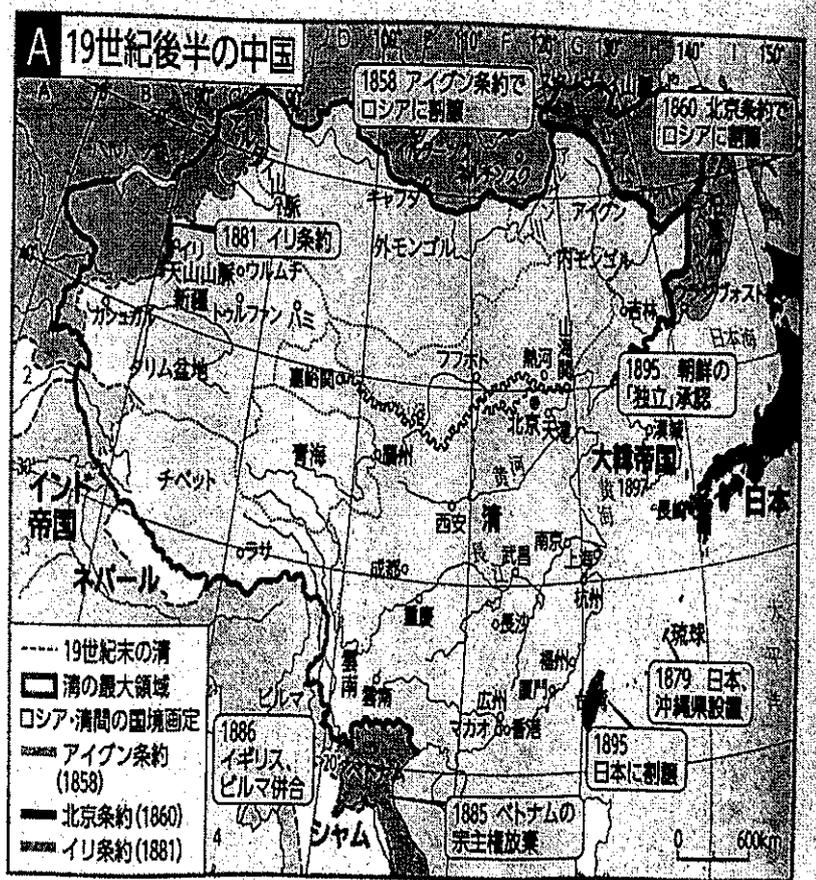
陳教授: 1860年代には「洋務運動」という近代化政策が始まりました。これは、西洋技術を導入して軍事や産業を強化する改革でした。例えば、造船所や鉄道の建設が進められました。

王さん: しかし、うまくいかなかったのですか?

陳教授: はい。清政府の内部対立や保守派の抵抗もあり、十分な効果は得られませんでした。そして、1884年にはフランスとの戦争(清仏戦争)が起こり、清は敗北。さらに1894年には日清戦争が起こり、日本に敗北して台湾を割譲しました。こうして、清の宗主国としての地位は揺らぐこととなります。

**① 中国の半植民地化と改革運動**

年	中国国内の動向	外国による圧力	注
1757	ヨーロッパ貿易を廣州1港に限定	1793 マカートニー(英)交渉	
1796	白蓮教徒の乱(~1804)	1816 アマースト(英)交渉	
1839	林則徐の禁煙、アヘン約2万箱没収	1840 アヘン戦争(~1842)	自由貿易の要求
1841	平定回疆事件	1842 南京条約	
1843	洪秀全、拜上帝会組織	1843 澳門通商追加条約	
1844		1844 望厦条約(対米) 黄埔条約(対仏)	
1851	太平天国(~1864)	1856 第二次アヘン戦争(アロー戦争)(~1860)	
1853	南京占領、天京と称する	1858 アイグン(瑛珲)条約	
1860	洋務運動(~1890)	1858 天津条約	
1861	総理衙門(總理衙門)設立、○同治の中興	1860 北京条約	
1864		1884 清仏戦争(~1885)	
1864		1885 天津条約→ベトナムの宗主権喪失	
1894	義和団、興中会結成	1894 日清戦争(~1895)	
1895		1895 下関条約→朝鮮の宗主権喪失	
1898		1898 列強の租借地設定(~1899)	
1900		1900 八ヶ国連合軍出兵	
1901		1901 北京議定書(辛丑和約)	



# プリント③

四人は放課後に、タイの国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

先生: みんな、今日は 1750 年代から 1910 年代までのタイの歴史、改革、そして経済について学びましょう。まず、18 世紀半ばのタイの様子を知っていますか?

生徒 A: 先生、それはアユタヤ王朝の時代ですよ?でも、ビルマとの戦争で滅んでしまったんですよ。

先生: その通り!アユタヤ王朝は 1767 年にビルマ軍によって滅ぼされました。しかし、その後チャクリー王朝が 1782 年に成立し、バンコクを首都としました。ラーマ 1 世がその最初の王です。

生徒 B: チャクリー王朝はどんな改革をしたんですか?

先生: いい質問ですね。ラーマ 1 世は国の統治を強化し、中央集権化を進めました。そしてラーマ 2 世やラーマ 3 世の時代には貿易が発展し、中国との経済関係が強まりました。

生徒 C: でも、本格的な改革はラーマ 4 世の時代からですよ?

先生: そうですね。ラーマ 4 世(モンクット王)は西洋の知識を積極的に取り入れ、タイの近代化を進めました。そしてラーマ 5 世(チュラロンコン王)はさらに重要な改革を実行しました。

生徒 A: チュラロンコン王の改革ってどんなものがあるんですか?

先生: チュラロンコン王は西洋の影響を受け、奴隷制度の廃止、行政改革、教育制度の導入など、多くの近代的な政策を実施しました。また鉄道を敷いたり、国際貿易を発展させたりして、タイの経済基盤を強化しました。

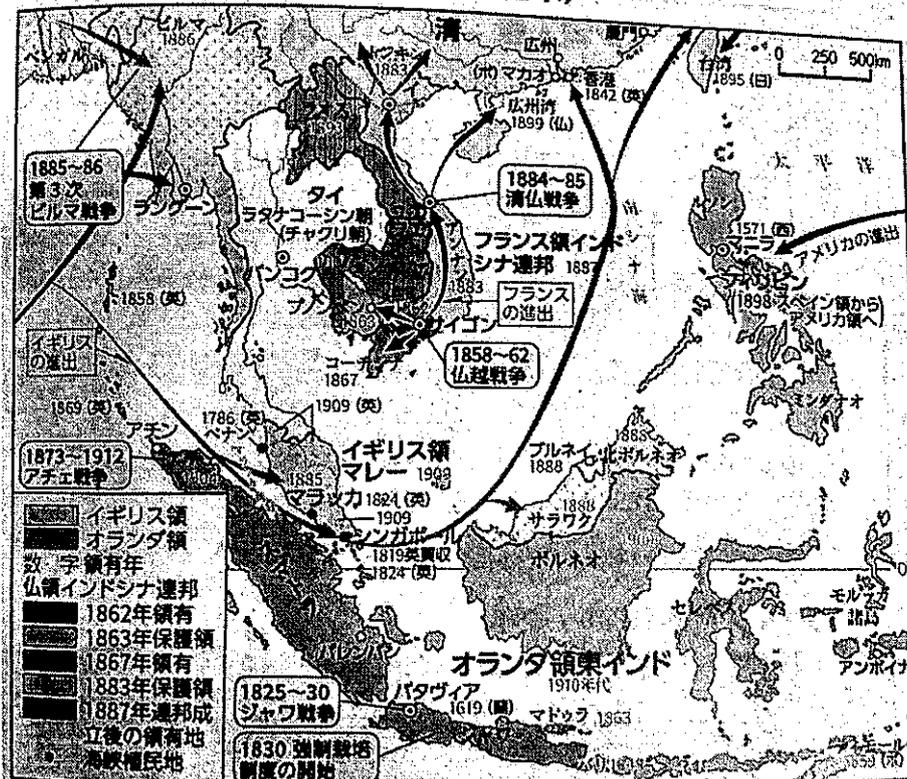
生徒 B: なるほど。でも経済の発展には西洋との関係が大きく影響しましたよね?

先生: その通りです!この時期、タイはイギリスやフランスと外交関係を築きながら、植民地化を避けるための巧みな外交政策を進めました。ラーマ 5 世の時代には特にこの外交戦略が重要でした。

生徒 B: すごく面白かったです!もっと詳しく学びたいな。

先生: ぜひ自分でも調べてみてください。歴史を学ぶことは、未来を理解する手助けにもなりますよ!

## 4A 東南アジアの植民地化(19世紀末)



タイ (独立を保つ)	
1851	ラーマ 4 世即位
1855	ボーリング条約(英と自由貿易)
1868	チュラロンコン(ラーマ 5 世)即位
○	近代化政策

# プリント③

二人は大学で、朝鮮の国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

朴さん: 金教授、1750年代から1910年代の朝鮮の歴史について教えてください！この時期はどんな変化があったのでしょうか？

金教授: いい質問ですね。1750年代の朝鮮は李氏朝鮮の支配下にあり、儒教を基盤とした社会でした。しかし、19世紀に入ると西洋列強の影響が強まり、国内の改革が求められるようになりました。

朴さん: 具体的にはどんな改革が行われたのですか？

金教授: 19世紀後半には「甲午改革」(1894年)が行われました。これは、日本の影響を受けた近代化政策で、科挙制度の廃止や軍制改革などが含まれていました。しかし、改革は十分に進まず、朝鮮は日本の影響を強く受けることになりました。

朴さん: 経済面ではどんな変化がありましたか？

金教授: 19世紀後半になると、朝鮮の経済は開放され、外国貿易が拡大しました。しかし、日本の植民地政策によって経済は支配され、朝鮮の自主的な発展は難しくなりました。

朴さん: なるほど、この時期は朝鮮の独立が脅かされていたのですね。

金教授: その通りです。1897年には大韓帝国が成立しましたが、1910年には日本による併合が行われ、朝鮮は植民地化されました。支配者が清から日本に変わったただけだったんです。

朝鮮	1607	最初の朝鮮通信使	江戸
	1637	清に服属	
	1801	キリスト教の大弾圧(辛酉の獄)	
	1811	洪景来の乱(~12)	
	1860	崔濟愚、東学を興す	
	1875	江華島事件 P.276, 280	
	1876	日朝修好条規(江華条約)→朝鮮の開国	
	1894	甲午農民戦争(東学党の乱)	
	1897	国号を大韓帝国と改称	
	1910	韓国併合	



# プリント③

二人は放課後に、日本の国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

先生：「今日は、1750年代から1910年代までの日本の歴史について学びます。タケルさん、この時期の日本について何か知っていますか？」

タケル：「はい！1750年代は江戸時代の中期ですね。徳川幕府が支配していて、鎖国政策を続けていました。」

サクラ：「鎖国って、外国と全く交流しなかったの？」

先生：「完全に交流を断ったわけではありません。オランダ、中国、朝鮮とは貿易を続けていました。特に長崎の出島ではオランダとの交易が行われていました。」

タケル：「でも、18世紀後半になると、財政が厳しくなってきましたよね。幕府は改革をしようとした。」

サクラ：「どんな改革？」

先生：「例えば、田沼意次の政策です。彼は商業を活用して財政を立て直そうとしましたが、賄賂が横行してしまい、うまくいきませんでした。その後、松平定信が寛政の改革を行い、質素儉約を推奨しました。」

タケル：「でも、19世紀に入ると、外国の圧力が強まってきましたね。特に、1853年にペリーが黒船を率いて来航したことが大きな転機でした。」

サクラ：「ペリーってアメリカの人だよな？何をしに来たの？」

先生：「アメリカは日本に開国を求めました。幕府は最初は拒否しましたが、1854年の日米和親条約で開国することになりました。」

タケル：「その後、1858年の日米修好通商条約で本格的に貿易が始まりました。でも、これが不平等条約だったので、日本国内では反発が強まりました。」

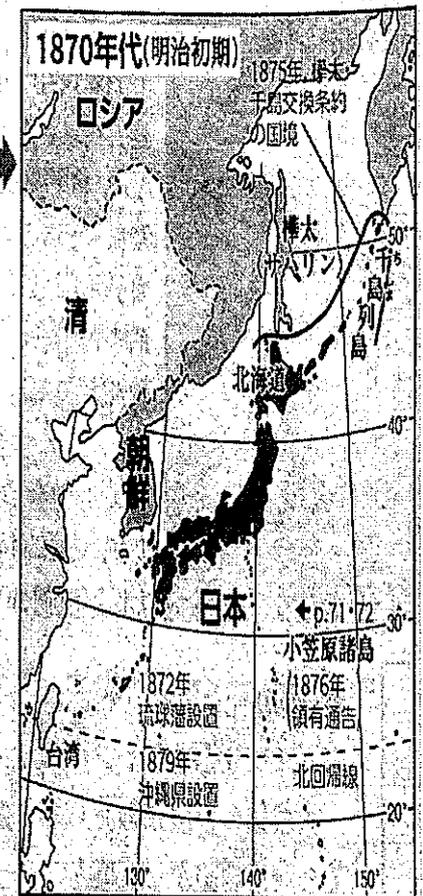
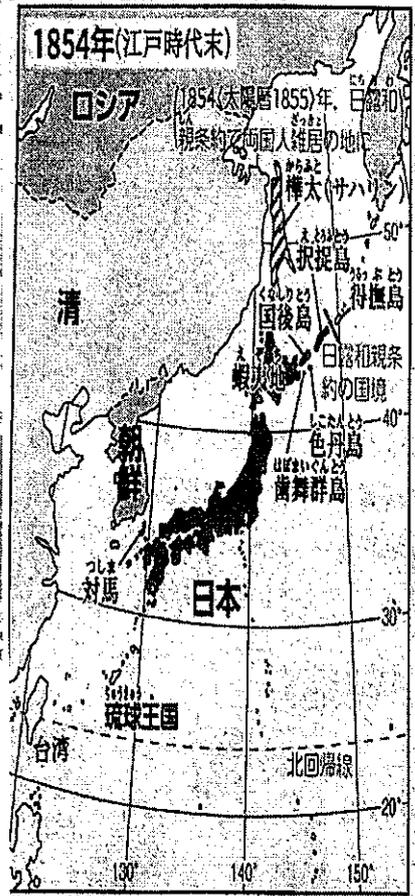
サクラ：「それで幕府はどうなっちゃったの？」

先生：「幕府の権威が弱まり、1868年に明治維新が起きました。徳川幕府が倒れ、新政府が誕生しました。」

① 幕末の動乱 ② 幕末の政治史 ③ 幕末

この数字は、右の地図と対応

年	幕府の動乱	幕末の政治史
1858 (安政)	6 日米修好通商条約(翌年、貿易開始) ②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫	12 江戸で幕府藩士がヒューストン(ヒューストン)の通商を拒絶 ⑫
1859 (安政)	7 外国奉行の設置(外交事務を担当)	
1860 (文政)	9 安政の大獄(1-58) ⑩	
1861 (文政)	10 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	11 江戸で幕府藩士がヒューストン(ヒューストン)の通商を拒絶 ⑫
1862 (文政)	11 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	12 江戸で幕府藩士がヒューストン(ヒューストン)の通商を拒絶 ⑫
1863 (文政)	12 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	13 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大
1864 (文政)	13 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	14 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大
1865 (文政)	14 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	15 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大
1866 (文政)	15 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	16 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大
1867 (文政)	16 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	17 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大
1868 (文政)	17 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大	18 和親(1846-77) 幕府天領の地、幕府領土の拡大



# プリント③

三人は放課後に、ロシア帝国の国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

先生：「今日は、1750年代から1910年代までのロシア帝国の歴史について学びます。イワンさん、この時期のロシア帝国について何か知っていますか？」

イワン：「はい！18世紀半ばのロシア帝国は、エリザヴェータ女帝の時代ですね。彼女はピョートル大帝の娘で、ロシアの文化や芸術を発展させました。」

イワン：「でも、農民の生活は厳しいままで、彼女の治世では農奴制が強化され、農民の反発が強まりました。」

アナスタシア：「農奴制って？」

先生：「農奴制は、農民が地主に縛られ、自由に移動できない制度です。ロシアでは農奴が多く、彼らの生活は非常に厳しかったんです。」

イワン：「その結果、1773年にはプガチョフの乱が起きましたね。これは農民やコサックが中心となった反乱でした。」

アナスタシア：「農民は自由を求めて戦ったんだね。でも、その後どうなったの？」

先生：「19世紀に入ると、ロシアはナポレオン戦争に巻き込まれました。1812年のロシア遠征では、ナポレオンの軍隊がロシアに侵攻しましたが、厳しい冬とロシア軍の抵抗によって敗退しました。」

イワン：「ナポレオンの敗北はロシアの国際的な地位を高めましたね。でも、国内では改革が必要でした。」

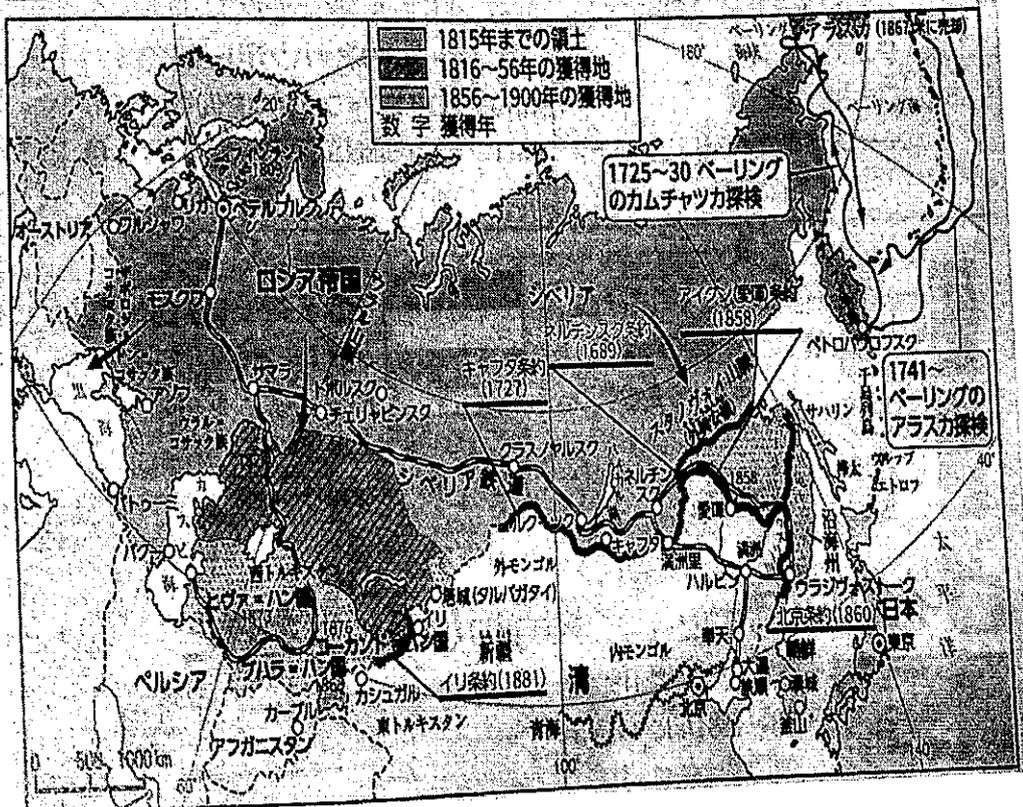
アナスタシア：「どんな改革が行われたの？」

先生：「1861年にアレクサンドル2世が農奴解放令を出しました。これによって農民は自由になりましたが、土地を買うために借金を抱えることになり、生活はあまり改善されませんでした。」

アナスタシア：「すごい！ロシアの歴史って、戦争や改革がたくさんあったんだね。」

先生：「そうですね。ロシア帝国は拡大しながらも、国内の問題を抱え続けました。今日はその流れを学びましたが、次回はさらに詳しく見ていきましょう。」

## 4C ロシアのアジア進出



国内の動向
○専制政治・農奴制の残存
1825 デカブリストの乱
1830 ポーランド蜂起(〜31)
← p.52
1861 農奴解放令
1863 ポーランドの反乱鎮圧
○皇帝の反動化(専制政治)
1870年代 ナロードニキ運動
○テロリズム(暴力主義)台頭
1881 アレクサンドル2世暗殺
1890年代 ロシア産業革命 (フランス資本導入)
1898 ロシア社会民主労働党 結成
1905 血の日曜日事件

# プリント③

二人は大学で、イギリスの国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかものをワークシートに記入しなさい。

ジョンさん: スミス教授、1750年代から1910年代のイギリスの歴史について教えてください！この時期は産業革命が進んだ時代ですよね？

スミス教授: そうですね。18世紀後半から19世紀にかけて、イギリスは産業革命の中心地となりました。1750年代にはすでに農業革命が進んでおり、食糧生産の向上が人口増加を支えました。またこの期間にイギリスは、立憲君主制を固め議院内閣制を取り入れました。

ジョンさん: 政治の面ではどんな改革がありましたか？

スミス教授: 19世紀には自由主義的改革が進みました。例えば、1832年の選挙法改正により、中産階級の選挙権が拡大されました。また、1846年には穀物法が廃止され、自由貿易が促進されました。

ジョンさん: 経済面ではどんな変化がありましたか？

スミス教授: 産業革命によってイギリスは「世界の工場」と呼ばれるほど経済が発展しました。鉄道や通信インフラが整備され、国際貿易が拡大しました。自由貿易主義が台頭し、イギリスは世界経済の中心となりました。

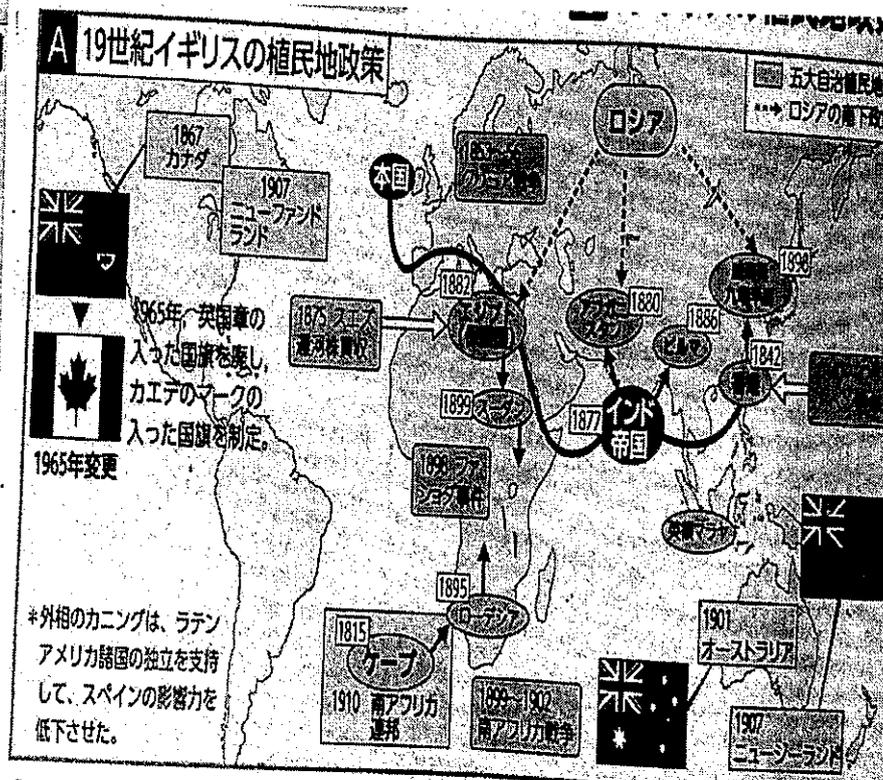
ジョンさん: 19世紀後半にはどんな社会運動がありましたか？

スミス教授: 労働者の権利を求める運動が活発になりました。チャーティスト運動では普通選挙を求める声が高まりました。また、労働法の整備により、労働時間の制限や児童労働の規制が進みました。

ジョンさん: 20世紀に向けてイギリスはどんな変化を迎えましたか？

スミス教授: 20世紀初頭には社会福祉政策が進みました。労働者の生活改善を目的とした法律が制定され、福祉国家への道が開かれました。さらに、帝国主義政策が強まり、イギリスは世界各地に植民地を拡大しました。宗主国として、世界の工場として世界を席卷しました。

イギリス	
1832	第1回選挙法改正 <b>都市の資本家に参政権</b>
1833	工場法(年少者の労働時間制限) 東インド会社の中国貿易独占権廃止(34実施)
1832	イギリスの改革(1832~1901) ① ←p.6
1837頃	チャーティスト運動(~58) ←p.53
1840	アヘン戦争(~42) →p.68
1845	アイルランド大飢饉(~49) →p.62
1846	穀物法廃止(輸入穀物への高関税廃止)
1849	航海法廃止 <b>自由貿易体制の確立</b>
1851	ロンドン万国博覧会(第1回) →p.60
1856	第2次アヘン(アロー)戦争(~60)
1867	第2回選挙法改正 <b>都市労働者に参政権</b> 自治領カナダ連邦成立
1868~74	グラッドストーン内閣(自由党 1868~74) ②
1870	教育法(初等教育の普及)
1871	労働組合法(労働組合を合法化)
1874~80	デイズレーリ内閣(保守党 1874~80) ③
1875	スエズ運河会社株の買収 →p.64
1877	インド帝国成立 →p.66
1880~85	グラッドストーン内閣(自由党 1880~85) ②
1884	第3回選挙法改正 <b>農業労働者に参政権</b>



① 第2次英仏百年戦争に勝利したイギリスは、アメリカ合衆国の独立後、アジア・アフリカの植民地獲得に重点を移した。

# プリント③

三人は放課後に、エジプトの国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入下さい。

- 先生 :「今日は、1750年代から1910年代までのエジプトの歴史について学びます。アミールさん、エジプトのこの時期の歴史について何か知っていますか？」
- アミール:「はい！18世紀のエジプトはオスマン帝国の支配下にありました。でも、フランスのナポレオンが1798年にエジプト遠征をしたことで、大きな変化が起こったんですね。」
- リナ :「えっ、ナポレオンがエジプトに来たの？なんで？」
- 先生 :「ナポレオンはエジプトを占領することで、イギリスとインドの交易ルートを断とうとしたんです。でも、イギリスとオスマン帝国の反撃を受け、1801年には撤退しました。」
- アミール:「その後、エジプトではムハンマド・アリーが台頭しましたね。彼はオスマン帝国の総督としてエジプトを統治し、事実上の独立国家を築きました。」
- リナ :「ムハンマド・アリーってどんなことをしたの？」
- 先生 :「彼はエジプトの近代化を進めました。軍隊を強化し、農業や産業を発展させました。特に綿花の生産を拡大し、経済を活性化させました。」
- アミール:「それに、教育制度も改革しましたよね。ヨーロッパの技術を学ぶために留学生を派遣したり、学校を設立したりしました。」
- リナ :「すごい！でも、その後どうなったの？」
- 先生 :「ムハンマド・アリーの後、エジプトは彼の子孫が統治しましたが、スエズ運河の建設などにより財政問題が深刻化しました。1869年にスエズ運河が開通すると、ヨーロッパ諸国の関心が高まりました。」
- アミール:「スエズ運河はヨーロッパとアジアを結ぶ重要な航路でしたね。でも、エジプトは運河の建設費で借金を抱え、イギリスとフランスが介入することになりました。」
- リナ :「それで、エジプトはどうなっちゃったの？」
- 先生 :「1879年、イギリスとフランスがエジプトの財政を管理するようになり、エジプトの独立は危うくなりました。そして、1882年にはイギリスがエジプトを占領し、事実上の支配下に置きました。」
- アミール:「イギリスの支配は長く続きましたね。エジプトの人々は独立を求めて抵抗しました。」

エジプト	
政策	1798. ナポレオン軍のエジプト占領(~1801)④
	1805. ムハンマド=アリー、エジプト総督(パシャ)就任③
第2次エジプト=トルコ戦争(~40)	
	1869. スエズ運河開通②
ミド	1875. スエズ運河会社株をイギリスに売却①
	1881. ウラービー (オラービー)の反乱(~82)⑤
2世.	1882. イギリスによる軍事占領
上	<b>事実上の保護国化</b>
199	(1914 保護国化)



# プリント③

三人は放課後に、イランの国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入しなさい。

レイラ：「カージャール朝ってどんな時代だったの？」

先生：「カージャール朝は19世紀を通じて続きましたが、ロシアやイギリスの影響を強く受けました。特に、ロシアとの戦争で領土を失いました。」

カリム：「そうですね。1804年から1828年の間にロシアとの戦争が続き、トルコマンチャーイ条約でアルメニアやアゼルバイジャンを失いました。」

レイラ：「イランはどうやって立て直そうとしたの？」

先生：「ナーシルッディーン・シャーの時代（1848～1896年）には近代化の試みがありました。彼はヨーロッパの技術を導入し、鉄道や通信網を整備しました。」

カリム：「でも、彼はイギリスやロシアに経済的な権益を売り渡してしまい、国民の不満が高まりましたね。」

レイラ：「それでどうなったの？」

先生：「1896年にナーシルッディーン・シャーは暗殺され、その後、1905年にはイラン立憲革命が起こりました。」

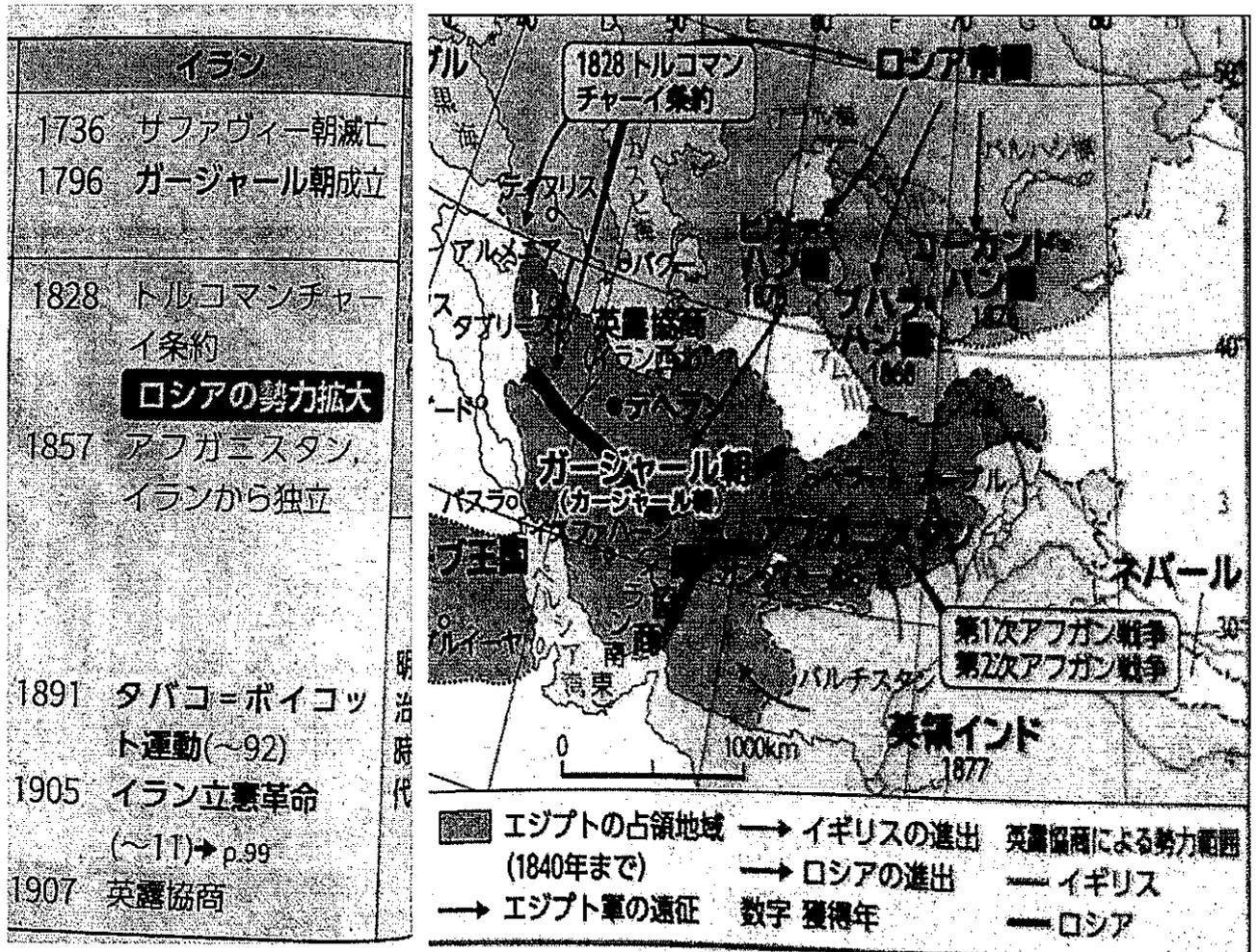
カリム：「立憲革命では、国民が憲法を求めて運動を起こし、1906年に憲法が制定されましたね。」

レイラ：「憲法ができれば、イランは民主的になったの？」

先生：「ある程度は変わりましたが、イギリスとロシアの干渉が続きました。特に、1907年の英露協定では、イランが両国の勢力圏に分割されてしまいました。」

カリム：「つまり、イランは改革を進めながらも、外国の影響を受け続けたんですね。」

レイラ：「なるほど！イランの歴史って、戦争や改革がたくさんあったんだね。」





### プリント③

三人は放課後に、オスマン帝国の国の歴史について話し合っています。その会話文を読み、班内で意見交換をしながら、わかるものをワークシートに記入下さい。

先生：「今日は、1750年代から1910年代までのオスマン帝国の歴史について学びます。アリさん、この時期のオスマン帝国について何か知っていますか？」

アリ：「はい！18世紀のオスマン帝国はまだ広大な領土を持っていましたが、ヨーロッパ諸国との戦争が続いていて、少しずつ衰退していました。」

レイ：「えっ、オスマン帝国ってすごく強いイメージがあるけど、どうして衰退しちゃったの？」

アリ：「セリム3世は改革しようとしたのに暗殺されちゃったの？」

先生：「そうですね。オスマン帝国の改革は、伝統的な勢力との対立があり、なかなか進みませんでした。でも、次のスルタンであるマフムト2世はさらに大胆な改革を行いました。」

アリ：「例えば、1826年にイエニチェリを完全に廃止しましたね。これで軍隊の近代化が進みました。」

レイ：「軍隊を改革したら、オスマン帝国は強くなったの？」

先生：「ある程度は強くなりましたが、ヨーロッパ諸国との戦争は続きました。特に、ギリシャ独立戦争（1821～1829年）ではギリシャが独立し、オスマン帝国の支配が弱まりました。」

アリ：「さらに、19世紀後半には『タンジマート改革』が行われましたね。これは、行政や法律を西洋式に変える試みでした。」

レイ：「タンジマート改革って、具体的にどんなことをしたの？」

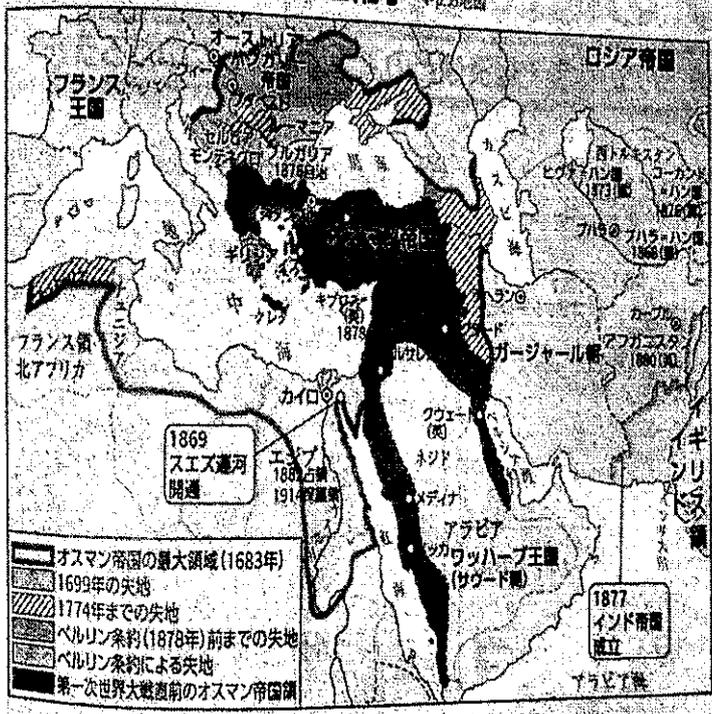
先生：「例えば、1840年代には新しい法律が制定され、税制が改善されました。また、学校制度も整備され、ヨーロッパの技術や知識を学ぶ機会が増えました。」

アリ：「でも、オスマン帝国の財政は厳しく、ヨーロッパ諸国からの借金が増えてしまいましたね。」

レイ：「借金が増えたらどうなるの？」

先生：「1875年には財政破綻し、ヨーロッパ諸国がオスマン帝国の経済を管理するようになりました。そして、1878年のベルリン会議では、バルカン半島の多くの地域がオスマン帝国から独立しました。」オスマン帝国は宗主国からじわじわと領土を失っていきました。

### ③ オスマン帝国の領土縮小



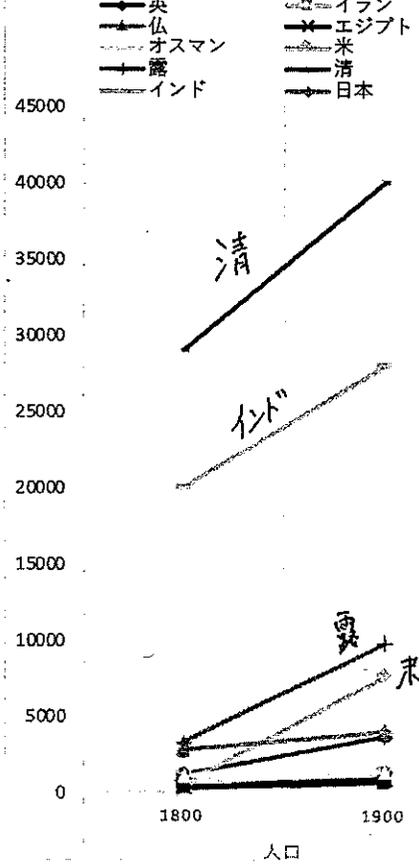
世紀	列強の進出	オスマン帝国
18世紀	○オスマン帝国のヨーロッパへの影響力低下 ○ロシアの南下政策	1789 セリム3世の近代化政策
	1821 ギリシャ独立戦争(～29) +p.52	1826 イェニチェリ全廃
19世紀～20世紀初頭	1831 第1次エジプト＝トルコ戦争(～33)	1839 第2次エジプト戦争
	1853 クリミア戦争(～56) +p.55	1839 タンジマート開始
		1876 オスマン帝国憲法(ミドハト憲法)発布
	1877 ロシア＝トルコ(露土)戦争(～78) +p.55	
	1881 イギリス、スーダンでマフディー派の抵抗に苦戦(～98)	1878 アブデュルハミト2世、専制強化 →議会、憲法停止
		1908 青年トルコ革命→p.99

プリント④

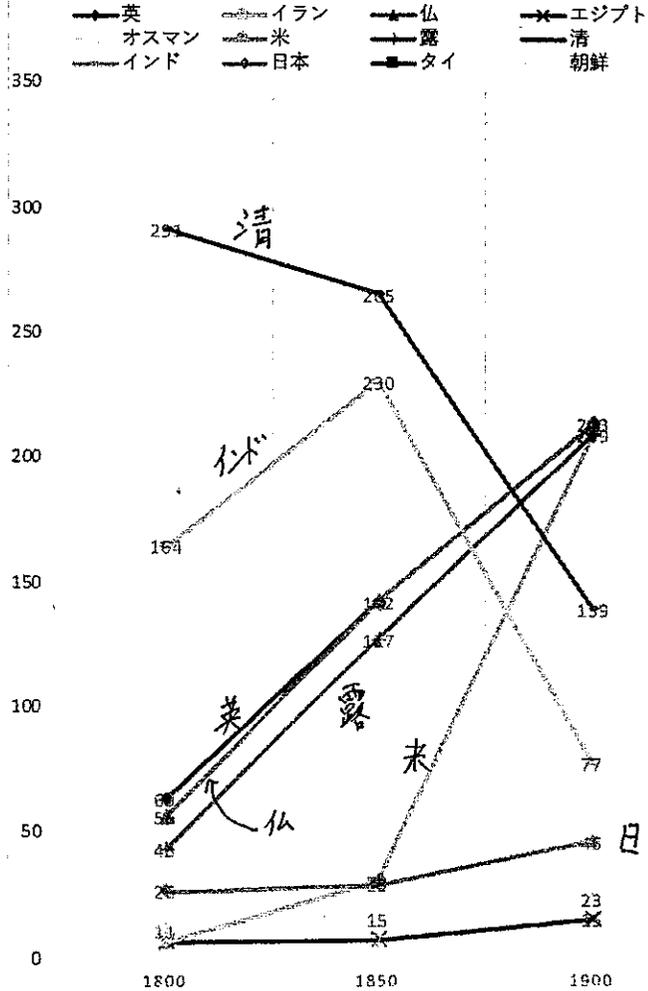
	西暦	英	イラン	仏	エジプト	オスマン	米	露	清	インド	日本	タイ	朝鮮	
GDP	1800	63		56	6	11	6	43	291	164	26			(百万ドル)
	1850	142		142	7	15	30	127	265	230	29			
	1900	213		213	15	23	209	209	139	77	46			

	西暦	英	イラン	仏	エジプト	オスマン	米	露	清	インド	日本	タイ	朝鮮	
人口	1800	1200	600	2800	350	900	600	3300	29000	20000	2800	300	1100	(万人)
	1900	3700	1200	4000	1000	1200	7600	9800	40000	28000	4000	700	1400	

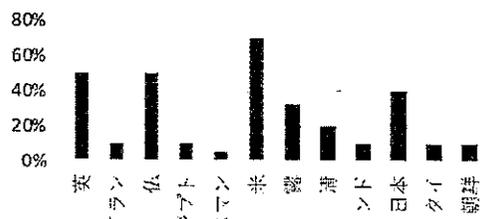
人口増加の推移



各国のGDP

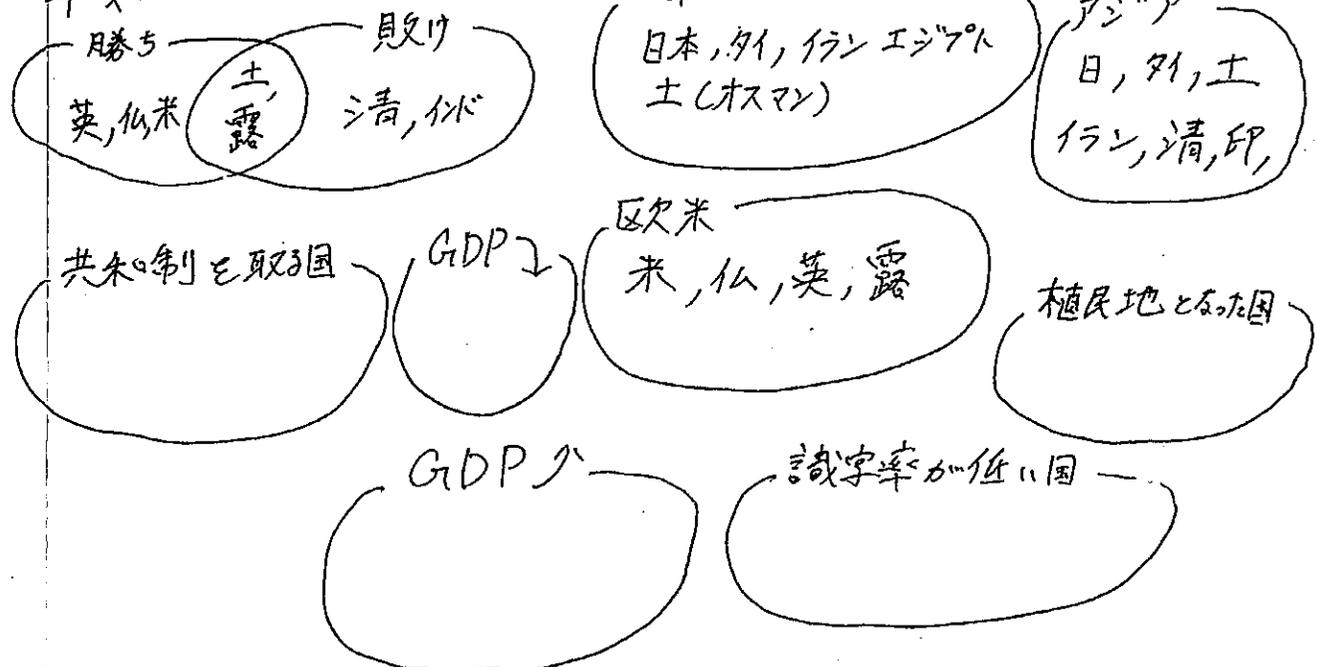


1850年頃の識字率



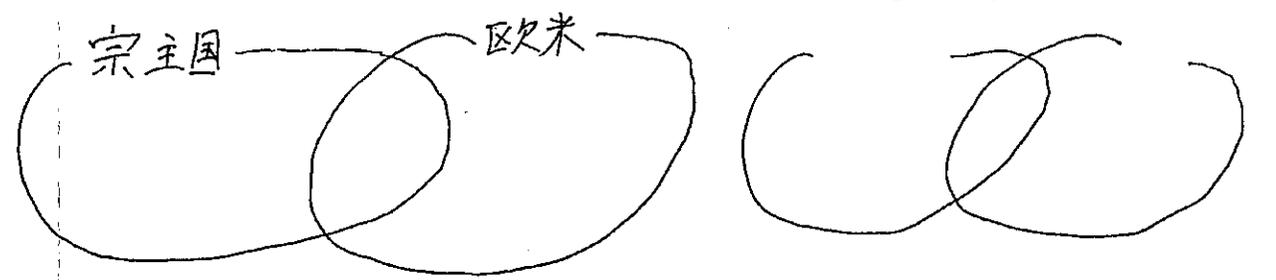
ワークシート プリント④

★仲間分けをしよう  
戦争



年組 番号 名前

★9ページ目を書いてみよう



※自分で考えてみよう!

★10 XY軸やベン図, 資料からよみとれる事を書こう

